

令和 7年度

事務事業評価表 (令和 6年度 の実績評価)

記入年月日
令和 6 年 4 月 1 日

事務事業名		森林環境譲与税活用事業				事業区分		担当		
						新規/継続	継続	事務事業No.	040105001058	
		政策体系上の位置付け				単独/補助	単独		050101	
政策体系	総合計画の施策名	0401		農林業の振興				所属課	農林課	
	政策名	04		活力ある産業のまちづくり				課長名		
	施策名	01		農林業の振興				グループ	農林G	
	手段名	05		⑤森林(里山)の保全と魅力づくり				担当者名		
財務会計上の位置付け						事業期間				
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計			
	01	06	02	02	04	00	森林環境譲与税活用事業			
法令根拠	森林環境譲与税及び森林環境譲与税に関する法律						単年度繰返し (令和元年度~)			
	森林環境譲与税及び森林環境譲与税に関する法律						☞ 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入			

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その1)

(1) 事務事業の概要

手段	①事務事業の概要(事務事業の全体像)	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
	<p>森林環境譲与税を財源とし、市町村が行う間伐や人材育成・担い手の確保、木材利用の促進や普及啓発等の森林整備及びその促進に関する費用とする。これらを目的とした目的税活用事業。</p> <p>私有人工林面積(50%)、林業就業者数(20%)、人口数(30%)の割合により算出され、森林環境譲与税として譲与される。</p>	<p>意向調査により森林所有者の管理状況を把握し、自ら森林整備を行うことができない森林について、対象森林の現地調査を行い、林業経営に適した森林を茨城県意欲と能力のある林業経営体を紹介し、林業経営の効率化と森林管理の適正化を促進する。</p> <p>林業経営に適しない森林や管理が行われていない森林の適切な管理の確保するため、新たな林業政策を策定する。</p> <p>令和3年度で県補助事業「身近なみどり整備推進事業」が終了になったことから、森林整備についても本事業で実施する。</p>

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
森林所有者の管理状況を把握するため意向調査を実施する。 森林整備の募集。	意向調査準備	件	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	意向調査実施件数	件	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	森林整備の募集	回	2.00	1.00	2.00	2.00	2.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
今後、自ら森林の経営・管理を他の人や団体に経営・管理を委ねたいと回答した者。	自ら経営管理ができない者	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
自己管理できない森林所有者の所有地で、林業経営に適した森林については意欲のある林業経営体を紹介する。	意欲のある林業経営体を紹介した件数	件	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	森林整備の実施	件	3.00	4.00	4.00	4.00	4.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量(事業費)の推移

投入量	事業費	財源内訳	千円	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度	期間限定 総投入量
				(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)	
		国庫支出金	千円	0	0	0			
		県支出金	千円	0	0	0			
		地方債	千円	0	0	0			
		使用料・手数料	千円	0	0	0			
		その他	千円	13,892	10,000	10,000			
		一般財源	千円	9,084	20,739	3,475			
		事業費計(A)	千円	22,976	30,739	13,475			
		正規職員従事人数	人	1.00人	1.00人	1.00人			

事業費の内訳	06年度事業費 実績(千円)			07年度事業費 予算(千円)		
	12 委託料	6,798		12 委託料	6,600	
	14 工事請負費	5,016		14 工事請負費	6,875	
	17 備品購入費	429				
	24 積立金	18,496				
	合計		30,739	合計		13,475

(4) 当該年度の実施内容

※年度ごとに事業内容を記入する	07年度の事業内容	08年度の事業内容	09年度の事業内容
	・茨城県内で被害が出ているナラ枯れ対策を行う。 ・地元より要望があった森林の整備を行う。	・茨城県内で被害が出ているナラ枯れ対策を行う。 ・地元より要望があった森林の整備を行う。	・茨城県内で被害が出ているナラ枯れ対策を行う。 ・地元より要望があった森林の整備を行う。

事務事業名	森林環境譲与税活用事業	事務事業No.	40105001058	所属課	農林課
(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ 平成30年5月に成立した森林経営管理法を踏まえ、パリ協定の枠組みの下における温室効果ガス排出削減目標の達成や災害防止等を図るための森林整備等に必要財源を安定的に確保することを目的として設立された。					
(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？ 森林整備に関する住民からの要望も多く、林業政策の充実が期待されている。					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
改革改善を行う	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 森林整備を行うことで荒廃森林の防止及び災害防止に繋がる。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 森林環境譲与税は、間伐や人材育成・担い手の確保、木材利用の促進や普及啓発等に充てられている。
	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある 森林整備における新たな制度を策定し、森林環境保全の向上を図る。
有効性	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 森林の荒廃が進んで森林の持つ公益機能が果たせなくなる。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) → 具体的な手段、事務事業名 <input checked="" type="checkbox"/> 連携ができる 森林整備を行うことで、ヤマザクラなど地域の資源を生かす環境を保全する。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？) <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 森林整備の要望が多くあり、更なる林業政策の充実が望まれているため削減できない。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 本事業の財源である森林環境譲与税は、適切な森林整備を進めることを目的としている。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		(2) 全体総括(振り返り、反省点) 茨城県内でカシノナガキクイムシを起因とするナラ枯れが流行しているため対策が必要となる。																								
(3) 今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う → <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 → <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input checked="" type="checkbox"/> 連携ができる		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th rowspan="2">向上</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		成果	向上	コスト			削減	維持	増加				○			維持					低下			
成果	向上	コスト																								
		削減	維持	増加																						
			○																							
	維持																									
	低下																									
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 今年度、大和地区の林道について、ナラ枯れ対策として伐倒燻蒸を行った。 7年度も引続き、市内でナラ枯れ被害対策を行う。		(6) 事務事業優先度評価結果 成果優先度評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> ⑥																								

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価 課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> B A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出		(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合) 確認欄 <input type="checkbox"/>	
--	--	--	--